



Dreams 「夢」

中学校の学習について

通常の学校生活が始まり、2週間が経ちました。先週から部活動が本格的に始まり、そろそろ疲れが出てきた頃?かもしれません。充実した日々が過ごせていることでしょう。

今日の1限目、中学校での学習についてしっかり考えてほしいと思い、時間を取ってもらいました。

さて、将来の夢や進路について、もうすでに決めている人はいますか?その夢に向かって、頑張っている人もいるかもしれません。ほとんどの人は、まだ悩んでいることでしょう。中学校までは義務教育で、全員が中学校に進学します。では中学校を卒業した後は、どうでしょう。中学卒業後の進む道は、自分で決めることができます。高校に進学するだけでなく、就職や家業を継ぐこともできます。そうは言っても、やはりほとんどの人が高等学校へ進学をしています。みんなもわかっているように、高校に入学するためには入試があります。「中3になったら受験勉強あるから大変やなあ~」と思っている人が多いようですが、実はそうではないことが、今日の話でわかったと思います。

【今日話したことのおさらい】

- ① 高校入試は、中学校の3年間の内容から出題される
- ② 公立高校の入試の合否は、入試の総合点の高い人から決まる
- ③ 総合点とは、入試当日の得点と調査書（全教科の通知表の結果）の評定
- ④ 調査書の評定は、3年：2年：1年 ⇒ 3：1：1で算出される
- ⑤ 調査書の評定については、1月に実施予定のチャレンジで学校の平均値が決定される
- ⑥ 英語の学力検査では英検など外部検定のスコアに応じた点数が保障される



例えば、英検2級取得者は点数の80%は保障される

小学校でも通知表がありましたが、中学校では、その数字が高校入試に大きく影響することをわかつてもらえたと思います。今さぼってしまうと、自分の進路にも大きく影響します。そのことをしっかり頭に入れて、日々の授業でしっかり学び、理解を深めてくれることを願います。

通知表の評価の内容や方法については、各教科の授業で説明があったと思います。また、入学説明会で配布したシラバスという冊子に詳細が書かれているので、参考にしてください。

保護者のみなさまへ

先日、今日から始まる教育相談（各担任と生徒）前にとったアンケートに、「苦手な教科について悩んでいる」と書いた生徒が数名いました。内容も量も小学校とはずいぶん違うので、ついていけるかと心配している生徒もいます。このように学習面について心配されているご家庭も多いかと存じます。その点につきましては教育相談のなかでも、個人的にアドバイスしていきたいと思っています。また7月15日～3日間、はじめての1学期末テストがあり、学年では事前にテスト対策や学習のサポートも予定しています。中学校でも家庭学習がとても重要になりますので、ご家庭でお声かけしていただければ幸いです。